

移動の足不足の改善状況についての検証及び令和7年9月末時点の利用者目線での検証結果の評価

令和8年2月20日
内閣府

1. 調査実施内容

生活者、旅行者の移動の実態を把握するため、内閣府において調査を実施。

ア 生活者

a 対象地域

- ・大規模団体(人口100万人以上)11団体
- ・中規模団体(20万人以上100万人未満)100団体
- ・小規模団体(5万人以上20万人未満)383団体
- ・東京23区 23団体

b 有効回答数

8,000件(大規模団体1600件、中規模団体2800件、小規模団体2800件、東京23区800件)

c 調査期間

令和7年9月12日(金)～9月18日(木)

d 調査方法

インターネットによるモニターアンケート調査を民間調査会社に委託

イ 旅行者

a 対象地域

47都道府県(宿泊旅行統計調査(令和6年1月～12月)の都道府県別宿泊者数に基づく分布に応じた形で調査。)

b 有効回答数

8,000件

c 調査期間

令和7年9月12日(金)～9月16日(火)

d 調査方法

インターネットによるモニターアンケート調査を民間調査会社に委託

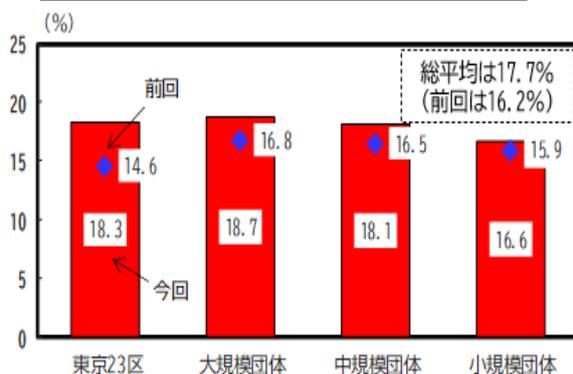
2. 調査結果の検証

調査結果の検証については、以下のとおりである。

① 生活者

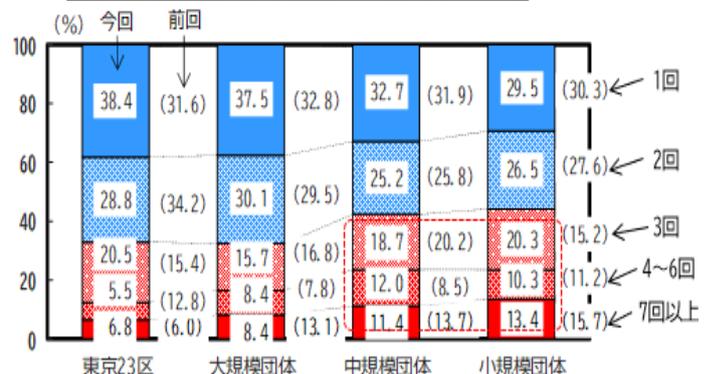
生活者については、団体規模(自治体規模)にかかわらず、6人に1人の割合で3か月以内に移動に困った経験があると回答(1図)。団体規模別にみると、小規模団体ほど、困った経験がある人のうち、その回数が多い人の割合が高まる傾向にある(2図)。また、3か月前と比べ、移動の足不足に関する状況は特に変わっていないと回答している人は8割弱存在している(3図)。足不足が改善した場合に、これまで以上にやりたいこと/やってみようと思うことがあると回答した者は7割程度存在している(4図)。

1図 移動の足に困った経験がある者の割合



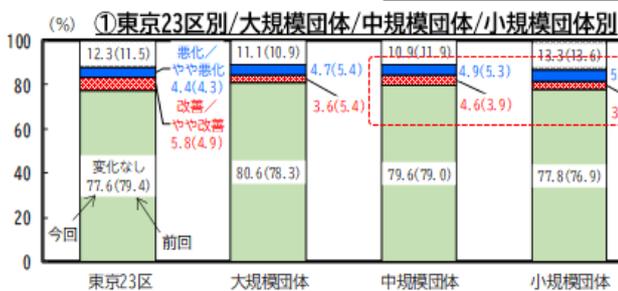
【今回】n=8,000 (東京23区: 800、大規模団体: 1,600、中規模団体: 2,800、小規模団体: 2,800)
【前回】n=8,000 (東京23区: 800、大規模団体: 1,600、中規模団体: 2,800、小規模団体: 2,800)

2図 移動の足に困った経験の頻度別割合

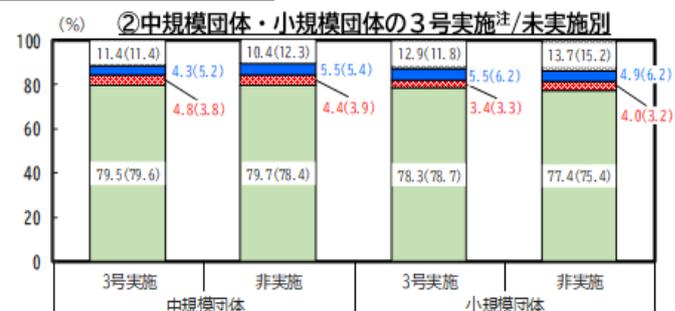


【今回】n=1,417 (東京23区: 146、大規模団体: 299、中規模団体: 508、小規模団体: 464)
【前回】n=1,292 (東京23区: 117、大規模団体: 268、中規模団体: 461、小規模団体: 446)

3図 3か月前と比べた移動の足不足の状況変化

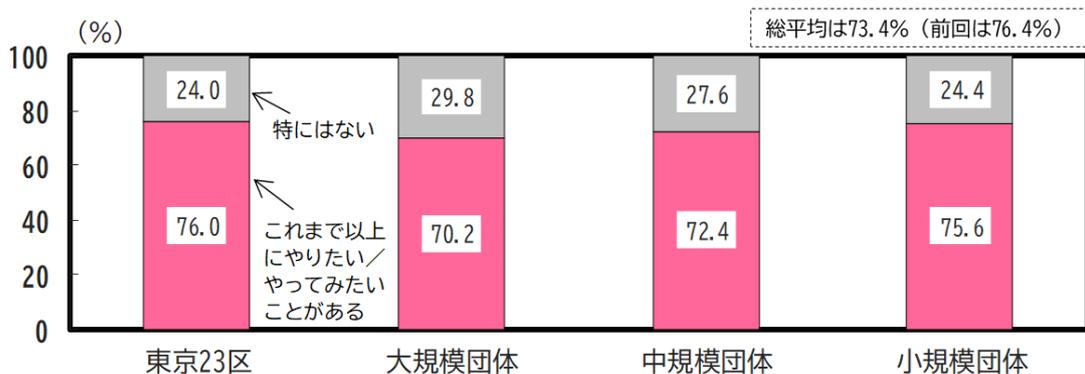


【今回】n=8,000 (東京23区: 800、大規模団体: 1,600、中規模団体: 2,800、小規模団体: 2,800)
【前回】n=8,000 (東京23区: 800、大規模団体: 1,600、中規模団体: 2,800、小規模団体: 2,800)



【今回】中規模団体のうち3号実施: 1,383、非実施: 1,417、小規模団体のうち3号実施: 1,280、非実施: 1,520
【前回】中規模団体のうち3号実施: 1,395、非実施: 1,405、小規模団体のうち3号実施: 1,290、非実施: 1,510
注) 令和6年9月30日までに3号の進行を開始した地域。

4図 移動の足不足の状況が改善した場合、これまで以上にやりたい/やってみようと思うことがあるか



n=1,417 (東京23区: 146、大規模団体: 299、中規模団体: 508、小規模団体: 464) 注) 移動の足に困った経験があると回答した者に対する割合。

※下記コメントは、回答いただいた自由回答を要約したものを記載。事実関係は未確認。



大規模団体
80歳以上

突然の豪雨で傘が無い中、タクシーも無く1時間以上も待った。



大規模団体
65～69歳

夜遅くはバスの本数が少なく、帰宅するのにバス停でかなり待った。



中規模団体
55～59歳

田舎なのでタクシーが少なく、乗れないことが多い。



東京23区
50～54歳

大雨や台風で電車が運休になると、タクシー乗り場に人が殺到し全く利用できなかった。その日は帰れずにカプセルホテルに宿泊した。



中規模団体
80歳以上

早朝の交通機関がないので、旅行などにでかけるときに困ることが多い。



東京23区
35～39歳

バスの本数が少なすぎるので、外出の時間を気にしなければならず楽しめなかった。



小規模団体
15～19歳

夜遅くになると駅にタクシーがおらず、遅くまで遊べなかった。



小規模団体
45～49歳

バスが減便されたことで最終バスが早くなった。それに加えタクシーも少なく、待ち時間が長い。



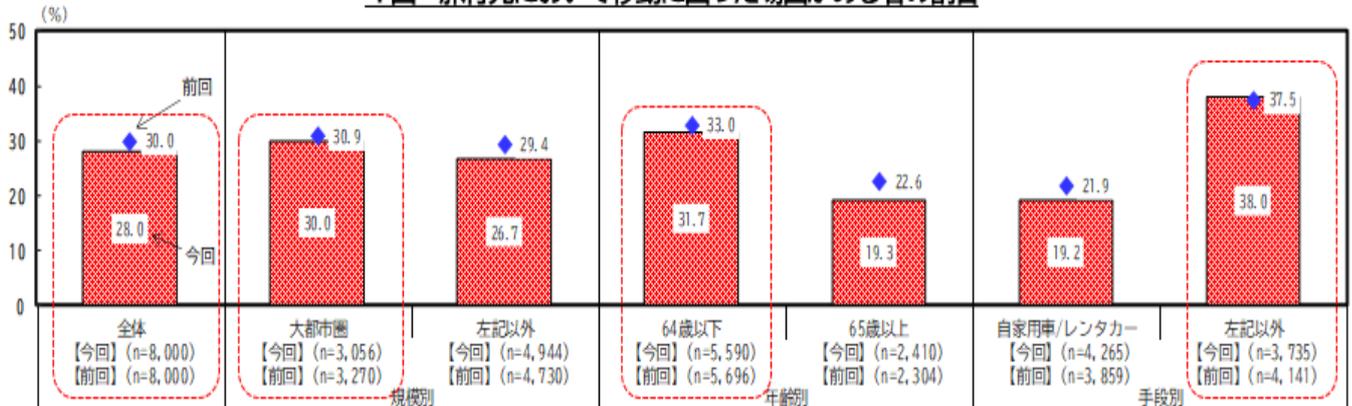
複数の方の回答

・バス、鉄道の本数が少ない ・バス、鉄道の遅延 ・バスの減便 ・自家用車や自転車の不具合により移動ができない ・深夜早朝の移動が困難（公共交通無し・タクシーが捕まらない） ・タクシーの手配が困難 ・悪天候時に移動できない など

② 旅行者

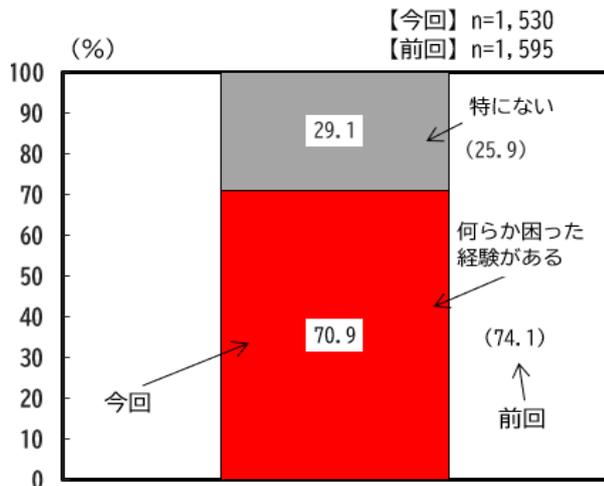
旅行者については、3～4人に1人の割合で旅行時に移動に困った場面があると回答(1図)。また、タクシーを手配しようとした人のうち、7割程度が何らかし手配に困った経験があると回答している(2図)。今後、スマホ等で簡単に手配できる移動サービスが新たに提供された場合、旅先での移動のしやすさが改善されると思う者の割合は5割弱存在している(3図)。

1図 旅行先において移動に困った場面がある者の割合



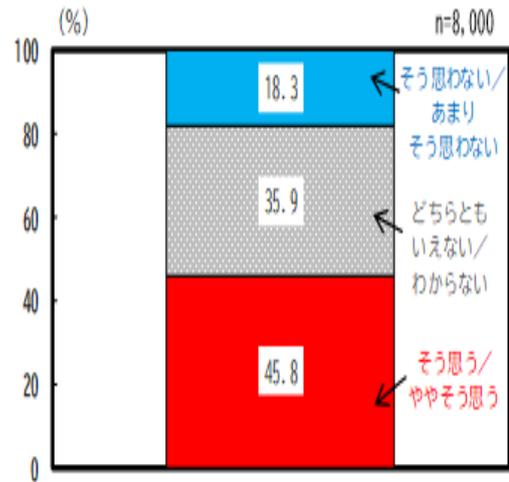
注) 移動に困った場面とは、タクシーが見つからなかった、バス・鉄道の便が少なく移動しづかった、15分以上の待ち時間が発生した、道回りのルートにせざるを得なかった、移動をあきらめた、等のこと。

2図 旅行先でタクシー手配時に困った経験の有無



注) 旅行先でタクシー手配をしたと回答した者に対する割合。

3図 スマホ等で簡単に手配できる移動サービスが今後新たに提供された場合、旅行先での移動のしやすさが改善されると思うか



自由回答 (抜粋)

2 旅行者

※下記コメントは、回答いただいた自由回答を要約したものを記載。事実関係は未確認。

- 

路線バスの便が削減されていた。

北関東
70~79歳
- 

渋滞に巻き込まれて、予定が大幅にずれた。

大阪府
40~49歳
- 

予定していたバスなどで運休や遅延があった。

南関東 (東京以外)
20~29歳
- 

公共交通機関の待ち時間が無駄に感じた。

中国
20~29歳
- 

天候不良で駅に足止めされて数時間待ったことがある。

沖縄
40~49歳
- 

外国の団体の観光客の方々を避けるために、電車を何本か見送った。

南関東 (東京以外)
70~79歳
- 

大雨の影響で電車のダイヤは乱れ、タクシーもつかまらない。

東京都
40~49歳
- 

タクシー乗り場があるが、長時間待たされた。

北陸
80歳以上
- 

複数の方の回答

 - ・バス、鉄道の本数が少ない (減便、曜日による運休がある)
 - ・待ち時間が長すぎる
 - ・バス、鉄道の遅延
 - ・タクシーがつかまらない
 - ・バス、鉄道の混雑、道路の渋滞
 - ・悪天候による遅延や運休
 - ・駐車場問題 など

3. 令和7年9月末時点での評価

移動の不足解消に向けて各種取組がなされており、利用者目線でみても、前回調査(令和7年3月公表)から若干改善している値も一部にみられる。他方、運転者不足等により生じている全国の移動の不足は、今回調査においても、依然として各地の各主体による回答においてみられる状況が続いており、引き続き、全国の移動の不足の解消に向けて、更にスピード感を持って各種の取組を進めていく必要がある。

以上